

1 図書館の現状と課題

(1) 図書館の現状

① 施設概要

- 市内図書館は**中央図書館**のほか、**まちづくりセンターの図書室3箇所**があります。
- 中央図書館は、**乳幼児から高齢者まで、幅広い世代の市民の学習活動を支援する拠点**としての役割を持っています。

ア 市内図書館の諸元

図書館（図書室）	施設概要	開館時間	休館日	蔵書数
①中央図書館 (岡田字宝ノ脇)	S55 開設 3,229 m ²	9:00~19:00	・月曜日 ・館内整理日 ・年末年始 (12/28~1/4) ・特別整理期間 (12日以内) 等	309,912 (内、視聴覚資料 9,219)
②旭まちづくりセンター 図書室 (新舞子字大口)	S59 開設 70 m ²	8:30~17:00		9,789 (内、視聴覚資料 4)
③東部まちづくりセンター 図書室 (八幡字南大平地)	S59 開設 44 m ²			8,625 (内、視聴覚資料 11)
④八幡まちづくりセンター 図書室 (八幡字月山)	S60 開設 90 m ²			11,561 (内、視聴覚資料 1)

(平成 30 年 3 月 31 日時点)

イ 中央図書館の施設機能



(1) 図書館の現状 (つづき)

② 運営概要

- 中央図書館の年間貸出人数は約 10 万人、年間貸出冊数は約 51 万冊 (平成 29 年度実績値) となっています。平成 21 年度からは指定管理者制度^{※1}を導入し、平成 22 年度には IC タグ^{※2}を導入して自動貸出機やセキュリティーゲートなどの運用を開始しています。開館日の増加や一部資料の貸出期間の延長など、利用機会の拡大にも取り組んでいます。
- また、資料の収集・貸出しや講座等の開催だけでなく、協力団体による活動の支援、小中学校との連携、子育て総合支援センターや保健センターと連携したブックスタート^{※3}支援事業などを実施しています。

※1) 平成 15 年の地方自治法の改正により創設された制度で、公共施設の管理等を民間企業などに代行させることができる制度。
 ※2) シールラベルなどに IC チップと小型のアンテナを埋め込み、そこに記憶された情報を電波によって直接触れずに読み取る技術。
 ※3) 赤ちゃんのいる家庭に絵本を配布し、0 歳児のころから本に接してもらい、読み聞かせなどを通じて親子のふれあいを深め、言葉と心を育てる役に立てようという運動。自治体の事業として全国に広がっている。

ア サービス内容

■ 館内利用

- 一般室、児童室、参考資料室の資料は、誰でも自由に閲覧可。
重要資料、閉架資料、視聴覚資料 (CD・カセット・DVD) の館内視聴は受付で手続きが必要。
ビデオ・レコードの館内視聴は不可。

■ 個人貸出

- 貸出点数：1 人 10 点以内 (全ての合計点数)
貸出期間：貸出日から 15 日以内

■ 団体貸出

- 市内の読書会・学校・保育園などの団体に、図書資料を貸出可。
- 貸出点数：団体構成員の 3 倍まで (上限 300 冊)
貸出期間：貸出日から 30 日以内

■ 貸出延長

- 貸出中の資料に限り、貸出期間の延長可。
- 延長できる回数：同一資料について 1 回限り
延長できる期間：当初の返却予定日から起算して 15 日以内

■ 資料予約・リクエスト

- 資料予約、リクエスト可。
※雑誌、視聴覚資料 (ビデオ・CD・カセット・DVD など) のリクエストは全て参考扱い

■ コピーサービス

- 図書館の資料に限り、著作権法の範囲内で、白黒 1 枚 10 円、カラー 1 枚 50 円でコピー可。

■ 郵送貸出サービス

- 視覚障害者に、無料で録音図書の郵送貸出サービスあり。

■ まちづくりセンター図書室との連携

- 中央図書館で借りた本を、旭・東部・八幡まちづくりセンターに返却可。
中央図書館の本を、旭・東部・八幡まちづくりセンターで予約・貸出し可。
それぞれその逆も可。

イ 実施事業

<平成 29 年度の事業実績 (一部)>

		事業名	参加者等	内容
指定管理者	講座・講習会	調べる学習講座	市内小学生 計 102 名	調べ方を体験し、作品作りのコツを知る
		英文多読講座	親子 15 組(43 名)	「おやごで楽しむ英文多読」講師 宮下いずみ氏
		中学生図書館ボランティア養成講座	市内中学生 計 33 名	「読み聞かせ講座」、「修理製本講座」、「書架整理講座」
	事業・催し物	ブック展	一般・児童	毎月、月毎のテーマで本を展示紹介
		お話コーナー／乳児向け読み聞かせ	幼児・児童 523 名 大人 119 名	毎週日曜に絵本・紙芝居を使った読み聞かせ
		ブックスタート支援	乳幼児親子 88 組	毎月第 3 火曜に子育て支援センターへ訪問し、読み聞かせと本の紹介
		図書宅配サービス	利用者数 34 人 利用冊数 38 冊	毎週水曜に市内在住の 65 歳以上の高齢者世帯の方、または身障手帳 2 級以上に該当する方の利用者宅へ配達・回収をする
		学校との連携	佐布里・新田・旭南小学校、東部・八幡中学校	図書委員会や読書集会などに出席し、図書室等の改善提案や、ブックトークを行い児童生徒の読書活動の推進を図る
		中学生ボランティア	7 回 延べ 19 名	読み聞かせボランティア
			18 回 延べ 56 名	フロアボランティア
4 回 延べ 29 名	修理ボランティア			
職場体験学習	市内中学生 5 校 35 名	図書館事業の体験		
協力団体 (9 団体)	講座・講習会	読み聞かせ講座	会員 20 名	絵本の読み聞かせについて 講師 川瀬陽子氏
		音訳講習会	会員 13 名	録音図書の音訳の指導 講師 池田和佳子氏
		創作童話講座	会員 10 名 一般 14 名	創作童話の講評と書き方 講師 野村一秋氏
	催し物	アニメ映画会	児童・一般延べ 262 名	知多地方視聴覚ライブラリーから資料を借用して実施
		お楽しみ広場	午前 140 名 午後 70 名	人形劇、大型紙芝居等の公演



中学生のフロアボランティア



ブック展



乳児向け読み聞かせ

(2) 図書館の課題

① 施設の老朽化への対応

- 中央図書館は開設から約 38 年が経過し、施設の老朽化が進展しています。

ア 建物の老朽化への対応

- 屋上防水の劣化による雨漏りや外壁におけるクラックがいたるところで発生しているほか、トイレなどの設備も古く利用しにくいものになっています。また、増加する蔵書量に対して施設の収容能力が限界を迎えていること、建物全体が古びて薄暗く感じられることから、**建物の大規模改修が必要**な状況です。



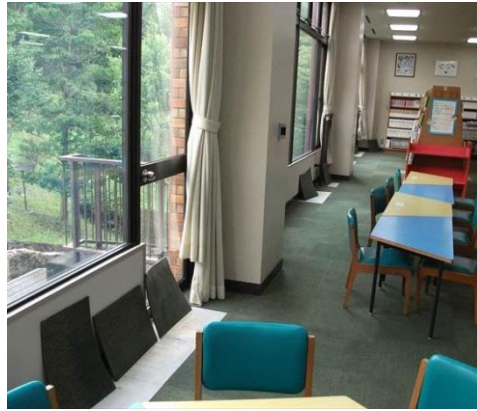
天井の雨漏り①



天井の雨漏り②



雨漏りへの対応の様子①



雨漏りへの対応の様子②



1F 女子トイレ (洋式は1箇所のみ)

イ 図書館システムの老朽化への対応

- 図書館システムも老朽化しており、インターネットを利用して資料予約を行う際、閉館後に空白時間が発生するなどの不具合があることから、**システムの大幅改修も必要**と言えます。

② 利用状況への対応

ア 多世代の利用者への対応、バリアフリーへの対応

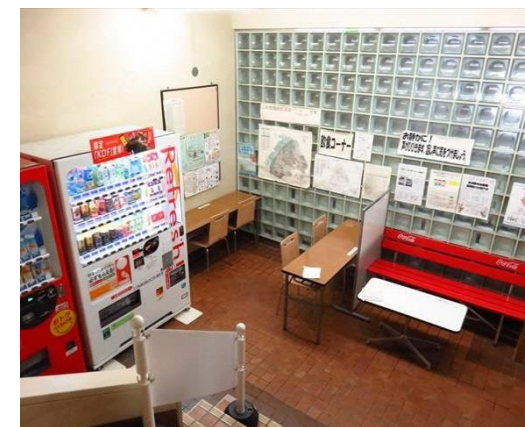
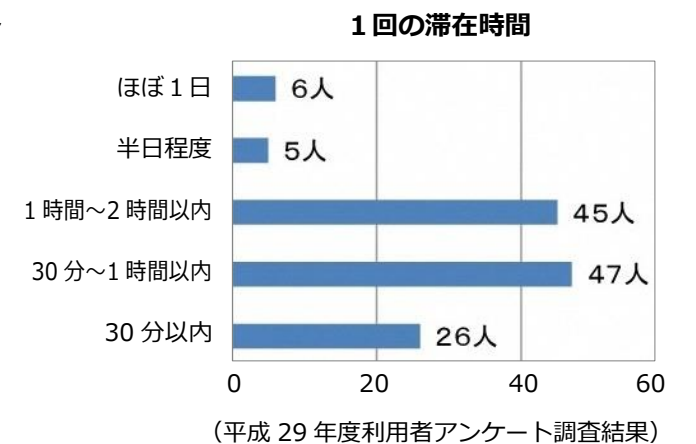
- 現状の施設は、授乳室やおむつ替えスペースなど、子育て世代に対応した設備が不十分であるほか、対面朗読室がないことや拡大鏡等の備品の老朽化など、バリアフリーの面でも課題があります。誰にとっても使いやすい施設とするため、**多世代の利用者への対応、バリアフリーへの対応が必要**です。

イ スペースの有効活用

- 現状の利用状況を見ると、利用者が少ない1階参考資料室や使用頻度が少ない2階ロビーなど、**有効活用できていないスペースがある一方で、利用者がグループ活動をするスペースが無い**状況であり、**利用状況に即して、スペースの有効活用を検討する必要があります。**

ウ 滞在型の利用者への対応

- 利用者の滞在時間は、「30分～1時間以内」「1時間～2時間以内」が多い一方で、「半日程度」、「ほぼ1日」も一定数存在し、図書館を「居場所」とする**滞在型の利用者**が存在しています。
- 現状の中央図書館は、飲食スペースが小規模で隣接した飲食店もありません。また、読書・学習スペースが足りず、持ち込みのパソコンを使用できる席も少なく、電源も使用不可となっており、利用者ニーズに対応できておりません。**飲食スペースの拡充や電源の使用可能なスペースの設置など、利用者が快適に過ごせる空間づくりやサービスの提供を検討する必要があります。**



飲食スペース (1F)



飲食スペース (2F ロビー)

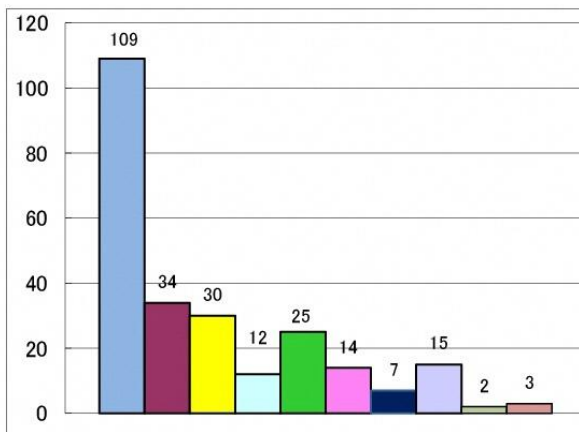
閲覧室の持ち込みパソコンスペース
(電源なし)

(2) 図書館の課題 (つづき)

③ 図書館利用の推進

- 平成 29 年度に実施した中央図書館利用者アンケート調査結果によれば、中央図書館の利用目的は「図書や雑誌、視聴覚資料の貸出・返却」が半数以上を占めていますが、貸出冊数および利用登録者数は平成 22 年度から減少傾向が続いており、**市民の読書や学習活動の推進のため、利用者ニーズを取り入れた資料収集など、図書館利用の推進が必要**です。

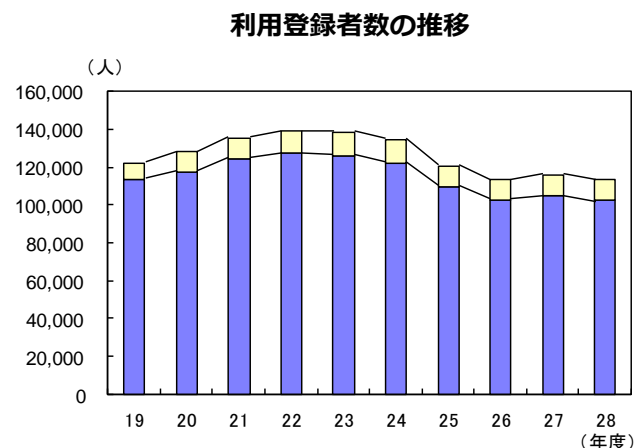
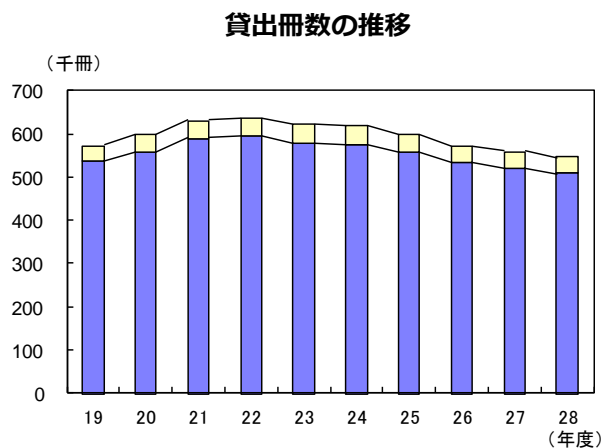
< 利用目的 (平成 29 年度中央図書館利用者アンケート調査結果) >



	人数
図書や雑誌の貸出・返却	109
視聴覚資料の貸出・返却	34
新聞・雑誌の閲覧	30
読書、読み聞かせ	12
資料を利用した調べもの	25
仕事のための情報収集	14
催物への参加・観覧	7
学習のための座席利用	15
ボランティア活動	2
その他	3
計	251

「図書や雑誌の貸出・返却」、「視聴覚資料の貸出・返却」の人数を合わせると 143 人となり、全回答数 251 人の 56%を占めています。

< 貸出冊数と利用登録者数の推移 >



■中央図書館 □まちづくりセンター図書室

課題への対応については、現在集計中の図書館利用者等に関する市民アンケート調査・利用者アンケート調査の結果などももとに検討していきます。